



うみつばめ

4A病棟 ひなまつり



基本理念

私たちは、地域の中核病院として、住民の立場にたち住民の健康、福祉、安全の向上に貢献します。

基本方針

1. 私たちは、患者さまの心（心身）の痛みに共感し、やさしさと思いやりのある医療を目指します。
2. 患者さまの医学的情報について、十分な説明を行い、理解と納得に基づいた医療の実践を行うとともに、個人情報の保護に努めます。
3. すべての職員が連携して、患者さまの満足と信頼が得られる医療の実践に努めます。
4. つねに医療の安全に関する知識と技術の向上に努めます。
5. 地域の医療、保健、福祉、介護との連携強化に努め、地域に開かれた病院を目指します。
6. つねにコスト意識をもって業務の効率化と能率化を図り、健全運営に必要な財政基盤確保に努めます。

持続可能な救急医療体制

病院長 阪本 繁

本年2月22日、那智勝浦町で、「これからの救急医療体制を維持するにはどうしたらいいの？」をテーマにしたシンポジウムが開催され、地域住民や医療従事者、行政職員が参加されました。

本県においては、人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化を見据え、医療機関の機能分化・連携強化を進め、効率的で質の高い医療提供体制の確保が必要です。特に、串本町も含めた新宮医療圏では、医師数の不足と医師の高齢化が深刻です。和歌山県における医師数は全国でも上位ですが、約60%が和歌山市に集中し、紀南地方には医師が不足しており、かつ救急専門医も足りていません。医師の長時間労働が問題となるなか働き方改革が実施され、タスクシェア・タスクシフトが導入されましたが、当地域では医師だけでなく、看護師、介護士などコメディカルも十分ではありません。

本県の医師少数・多数の区分を、次のとおりとします。

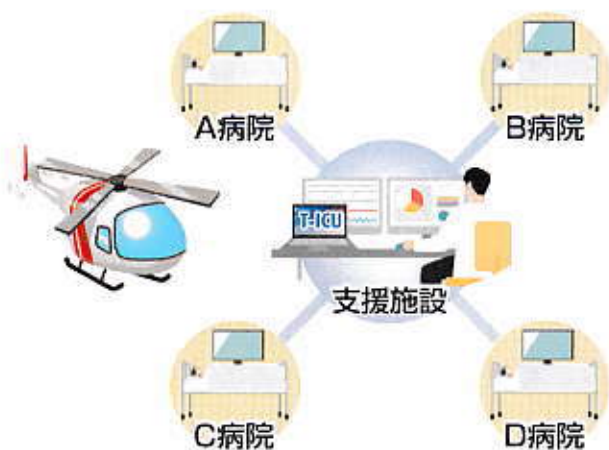
図表 本県及び県内二次医療圏の医師少数区域・多数区域の区分

医療圏名	医師偏在指標	全国順位	区分※
和歌山県	274.9	10	医師多数県
二次医療圏	和歌山	347.0	医師多数区域
	那智	194.8	
	橋本	217.2	
	有田	180.8	
	御坊	243.9	医師多数区域
	田辺	216.5	
	新宮	162.2	医師少数区域

※ 全国330医療圏のうち、
上位33.3%（112位以上）が医師多数区域
下位33.3%（223位以下）が医師少数区域



【引用：第八次和歌山県保健医療計画】



ギリギリのスタッフで医療レベルを担保するためには、各医療機関の協力体制はもちろん重要ですが、ドクターヘリの活用（夜間、雨天時は飛行不可）や、今後は先端技術を用いた遠隔集中治療の導入も有効です。横浜市や新潟県などでも導入されており、その結果、医療の質が向上し、夜間、休日の医療スタッフの負担も軽減したとの報告があります。和歌山県でも特にこの新宮医療圏に導入されることを期待します。

最後に、救急医療の適正利用についてお話しします。

休日や時間外に比較的軽症な患者様が救急医療機関を直接受診することにより、本来担うべき重篤な患者様への救急医療提供に支障を来すことが懸念されています。また、緊急性が低く、自分で病院に行けるにもかかわらず、救急車をタクシー代わりに利用することも問題となっています。

くしもと町立病院への救急車搬入件数は、年間1,000件程度です。救急医療は、医療機関の献身的な協力と救急隊員の昼夜を問わない活動、それに町民の皆様のご理解、ご協力のもとに成り立っています。適切な救急医療体制を保つためのご協力をお願いいたします。



せん妄について



せん妄とは、脱水や感染症、手術や痛み、薬や環境の変化など、身体に何らかの負担がかかったときに起こる脳機能の乱れであり、一時的に意識障害や認知機能の低下などが生じる精神状態のことです。一般病棟への入院の場合、患者様の10%～30%が入院中にせん妄症状を発症するといわれており、患者様によっては、入院による環境の変化や身体の不調により発症することがあります。特に高齢の方は発症するリスクが高いといわれています。

せん妄の症状・・・

- 時間と場所の感覚が鈍くなる
(日付や曜日がわかりにくくなる、
今いる場所がどこか分からなくなる)



- 睡眠のリズムが乱れる



- 落ち着かない
(何度も起き上がりどこか
へ行こうとするなど)



- 怒りっぽくなる



- 見えないものが見える、天井
や壁の模様が動いて見える



- 治療に必要な管や点滴
などを抜いてしまう



一般的に、認知症とせん妄は間違われやすいですが、せん妄はこれらの症状が突然発症すること、一日の中でも症状に波があること(夕方～夜にかけて出現しやすい)、そして症状の出現は一時的で時間経過とともに症状は落ち着くことが特徴としてあげられます。

せん妄の症状と思われる行動を目にしたら、まずは一度心を落ち着かせましょう。慌てて本人の行動を制止したり、話の内容を無理に正す必要はありません。本人の言動に耳を傾け、安心できるような声かけをすることが大切です。意識が混乱している場合、ご家族と会話をするだけでも患者様は安心され、せん妄の症状が落ち着くこともあります。そのため入院中のせん妄発症時にご家族の方にお電話や付き添いなどをお願いすることもあります。

入院時のせん妄予防としては、患者様の病院生活を日常に近づけることが大切です。自宅で普段使用しているもの(眼鏡や補聴器、ブランケットなど)や、日時がわかるカレンダーや時計、ラジオや音楽、ご家族やベットの写真、そのほかにも手元にあると患者様が安心できるものを持参していただくことが予防につながります。入院後はできるかぎり普段の生活リズムを崩さないように、安心して治療に取り組んでいただける環境をサポートいたします。



【文責：看護部 萩中 利瑚】

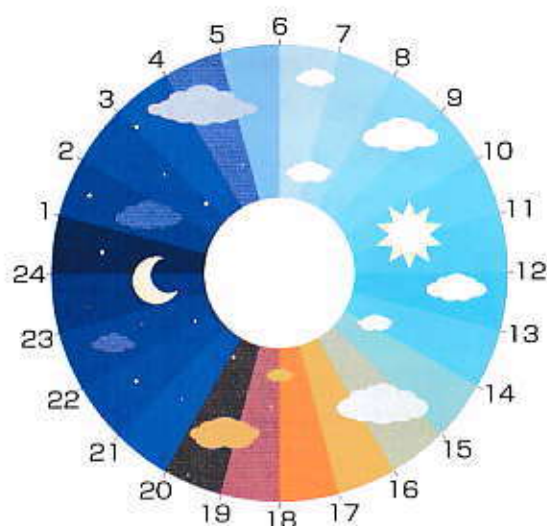
ホルター心電図検査について



— ホルター心電図検査とは —

ホルター心電図検査とは、小型の心電計を24時間胸に装着し、日常生活中心電図を記録する検査です。

病院内で検査する心電図検査では記録が短時間であるため、普段自覚症状があってもその間だけでは不整脈などの変化が記録されないこともあります。その場合にホルター心電計を装着し長時間記録することで、通常的心電図検査では捉えられない異常を見つけられる場合があります。



— 検査方法 —

胸にシール状の電極を3枚貼り付けて、心電計を装着してもらいます。

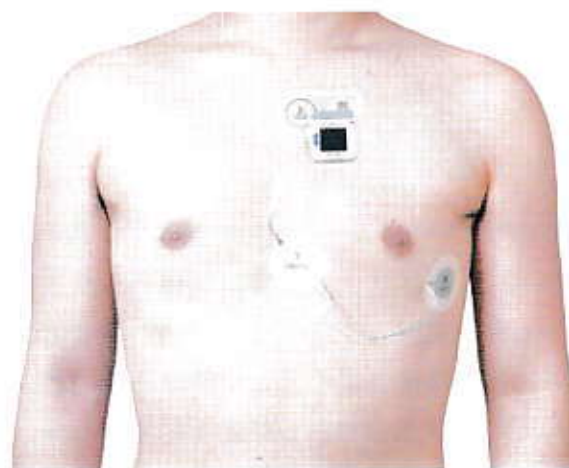
当院のホルター心電計は大きさ4cmほどと小さく、軽量のものを採用しています。

患者様には行動記録カードをお渡しし、就寝・起床、食事、入浴、服薬、トイレ、運動など、装着中の行動内容を記録していただきます。また、胸の痛みや動悸などの症状があった場合は時刻を記入し、同時に装置本体のイベントボタンを押していただきます。

これらの記録を元に、心電計に記録された波形と比較して解析をしていきます。

当院で使用している機器は、入浴も40℃のお湯で10分ほどでしたら可能です。

24時間経過後、病院まで装置を外しに来ていただき、結果は約1～2週間で分かります。



画像：フクダ電子 HP より引用



胸の痛みや動悸など気になる症状がある方は、一度内科を受診していただき、お気軽にご相談ください。



【文責：臨床検査部 柿原 芽依】



頭部 MRI 検査について

令和 7 年 1 月より『串本町脳ドック助成事業』がはじまりました。
今回は頭部 MRI 検査についてお話をさせていただきます。

三大疾病という言葉があります。それは、日本人が亡くなる病気の上位を占める『がん・急性心筋梗塞・脳卒中（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）』を指します。特に脳卒中は、寝たきりになる原因の病気【第 1 位】となっており、MRI 検査により早期発見や治療につなげることができます。



◆MRI とは何か？

強力な磁石でできた筒の中に患者様が入り、磁気の力を利用して身体の内臓や血管を撮影する検査です。そのため、金属は持ち込むことができません。心臓ペースメーカーや人工内耳、脳の金属クリップや金属製の人工弁、ステントなどを埋めこんでいる方も検査ができない可能性がありますので、一度病院にご相談ください。

◆MRA とは何か？

血管の走行や流れを調べることを目的とした血管画像のことです。

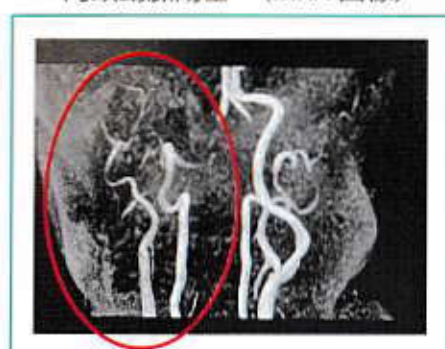
通常の MRI 画像では見つけにくい位置にある小さな動脈瘤や、血管の走行異常などを確認しやすくなります。

動脈閉塞の画像



（本来は左右対称ですが、閉塞により右内頸動脈が描出されていない画像）

内頸動脈閉塞（MRA 画像）



◆頭部 MRI 検査をおすすめする方

・高齢者・脂質異常症・脳卒中・認知症の家族歴がある方・
肥満気味の方・高血圧の方・喫煙される方・糖尿病の方



くしもと町立病院では PHILIPS（フィリップス）製の 1.5T（テスラ）型撮影装置を採用しており、上記のような鮮明画像を撮影することができます。参考にしていただき、身体で気になることがありましたら医師やスタッフにご相談ください。

当院 MRI 装置



【文責：放射線部 宮本 純志】

レディース外来 医師の交代と診察日変更のお知らせ

令和7年4月以降のレディース外来の医師が交代します。
それにもない、診察曜日が以下のとおり変更となります。

《退職》

ふくだ なほ 医師
福田 奈穂 医師

《着任》

わだ ちはる 医師
和田 知春 医師

《変更前》

第2・4水曜日

《変更後》

第2・第4火曜日



ご寄付いただきました！

THANK
YOU

株式会社 大塚商会様より、企業版ふるさと納税として電子黒板
(MAXHUB) と災害時簡易トイレ (ラップボン) をご寄付いただきました。
ありがとうございました。



電子黒板 (MAXHUB)



災害時簡易トイレ (ラップボン)



保険証の代わりにマイナンバーカードで

マイナ受付

